



食器から食器へ - 不要陶磁器製食器のリサイクル -

小平市ごみ減量推進実行委員会では、平成23年度6月から陶磁器製の食器リサイクルに取り組んでいます。平成23年度には、6月のごみゼロフリーマーケットで800kg、9月のこだいらエコフェスティバルで1,870kgもの陶磁器が集まりました。平成24年6月のごみゼロフリーマーケットでは790kgの陶磁器が集まりました。

回収された陶磁器は実行委員会で検品し、リサイクル対象外のもの（土鍋など直火で使用するもの・汚れているもの・ガラス製品等）、状態がきれいでもそのまま使用できるもの、できないものに分けられます。

使用できるものは安価で販売したほか、平成23年7月には、東日本大震災の被災地の岩手県石巻市に8箱分、福島県会津若松市に10箱分を寄贈しました。

● 陶磁器のリサイクル工場を見てきました。

24年3月に小平市清掃事業協同組合と実行委員会の代表が岐阜県土岐市にあるリサイクル業者「神明リフラックス」に回収した陶磁器1,250kgを持って行き、陶磁器リサイクルの処理工場を見学してきました。神明リフラックスでは、社長の宮地さんが不要陶磁器リサイクルの流れについて詳しく説明してくださいました。

持ち込まれた陶磁器は粉碎機で細かく3回に分けて砕かれ、ミル（すりつぶす機械）で水などを加えながらさらに細かくし混ぜられます。リサイクルした粉20%に土80%を加えて土練機でよく練りリサイクル粘土が出来上がります。出来上がった粘土は形成・素焼き・本焼きし、新しい器に生まれ変わり、お店に並べられ販売されます。



● 安価で販売 ●



● 粉碎した粉 ●



● 再生食器 ●

神明リフラックスの再生処理場では、年間1,200tの再生処理が可能ですが、平成23年度に全国から持ち込まれた陶磁器は120tでした。神明リフラックスでは、陶磁器リサイクルのシステムを、市民・産・官・学とのパートナーシップにより推進して高めていきたいと考えているとのことでした。